

義方小学校 福祉教育の取り組み

5年生 福祉についての学習

「福祉」と「認知症」について学びました。高齢者疑似体験や車椅子体験、地域の福祉施設見学、ゲストティーチャーの方々の講話などを通して生活上の困り感を理解することで自らできるサポートについて考えました。バリアフリーやユニバーサルデザインについて理解を深めることで、誰もが幸せに暮らしていくための課題を考え、自分たちにできることをしていきたいと意欲を高めました。



全校での JRC 活動

「気付き・考え・行動する」の合い言葉に加えて、本校校訓「義方・剛健・仁愛・進取」に沿って、学級実践に取り組みました。各学級の JRC リーダーが活動を推進し、学校や学級のために自分たちにできることを見つけ、実行しました。活動を通して自発的に行動しようとしたり、人のために積極的に動くリーダーシップを伸ばしたりすることができました。

いいところ見つけ

運動会や学習発表会を通して、児童がお互いの頑張っているところやよさをメッセージに書きました。同学年の友達に「大きな声で台詞の練習をしていたね。」「手作りの小道具を上手に作っていました。」などの言葉を伝えるだけでなく、準備や運営で全校を引っ張った高学年に向けて「6年生のみなさんのおかげで、楽しい運動会になりました。」といった感謝の気持ちを表すメッセージなどもあり、お互いによさを伝え合う取り組みを行ったことで、学校全体が温かな雰囲気になりました。



あいさつ運動

委員会を主体として、児童玄関であいさつ運動を取り組みました。「自分から、大きな声であいさつができる学校」にしていくために、オリジナルシールを作成して配ったり、放送やポスターで呼びかけたりしました。自分たちの住む地域があいさつでいっぱいになるように自分たちができることに取り組みました。

